

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/03/11号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

Gold上昇続きさらなる高値更新！

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



先週のレポートでは2100ドル突破の可能性も十分と書きましたが、まさにその通りとなりました。先々週の金曜日のISMの悪化から始まったゴールドの上昇は、週前半はこれといった特別な材料もない中、とりあえず上値抵抗線とみられていた2085ドル近辺を抜けたことで、一挙に2100ドルを超えて昨年12月4日に一瞬つけたこれまでの歴史的な高値である2133ドルを超えて大きく上昇し、金曜日には過去の雇用統計の数字が大きく下方修正されたことで、6月FRB金利下げの可能性が高まり、歴史的な高値は2194ドルと2200ドル目前まで進みました。今回の高値の更新は、しっかりとした価格形成で上げてきており、前回とは全く違うしっかりとした根拠ある価格であると言えるでしょう。ここで一つ不思議なのは、今回のこの大きな上昇、欧米の投資家のETFの大きな買いを伴ってはいないことです。ゴールドETFの残高はこの価格の上昇に対してその残高を減らし続けています。つまり投資家はこの上昇に利食い売りを続けているということになります。2022年Q4辺りから、ETFの残高とゴールドの価格の動きはそれまでの相関関係が逆転しています。では一体誰の買いで上がっているのか？ 答えはおそらくは新興国の中央銀行と個人の現物買いが下値を支えていて、このレポートを書いている土曜日早朝午前5時に発表されたCFTCのCOT (Commitments of Traders) レポートでは、Comexのゴールド投資家ポジションが一週間で約200トンのゴールドを買っていることがわかりました。この買いが火曜日までの上昇の背景であり、火曜日から金曜日に至るまで確実にさらにも買われているということになるでしょう。ゴールドETFの大半を占める欧米の投資家が、ゴールドの売りから買いに転じたら、ゴールドの上げはまだこれからと考えておくほうがいいのでしょうか。円建てゴールドも一週間で10055円から10300円まで上昇、歴史的な高値は10381円となりました。150円から147円の円高の動きも円建てゴールドの大きな下落要因にはなっていません。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

前週と同じくゴールドの上昇のおかげでシルバーも上昇、週後半には24ドルを超えました。金銀比価は89と若干改善。しかしまだその割安感は否めません。基本ゴールドの動きを追う二義的な動きが続くと思われます。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド

「プラチナの現状」

ゴールドの動きに比べるとプラチナは相変わらずぱっとしません。CMEの投資家ポジションをみると、ゴールドは先週倍増となったのに比べてプラチナは半減という非常に対照的なものとなっています。投資家がいかにゴールドに集中しているかがよくわかる行動だと言えます。かろうじて900ドルを復帰しましたが、ゴールドとの値差は史上最大を大きく更新。1264ドルになりました。残念ながらこの流れは続きそうです。



【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで